

平成29年度 授業改善結果の検証について

学校名 中央区立佃島小学校

校長名 大橋 稔

<p>授業改善の 基本方針</p>	<p>取組範囲 (○) 全教科・( ) 学力調査の教科・( ) 重点教科 ○各教科等で身に付けさせたい力を明確化し、児童が言語活動を通して課題解決することができるよう指導を進める。</p>	
<p>授業改善の 主な取組</p>	<p>重点的に取り組んだ方策・特色ある取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞く・話す」「書く」「読む」能力を高める指導法の工夫に取り組む。</li> <li>・2年目となる体育の校内研究をさらに深め、準備運動から一連の授業スタイルを確立し、指導法の統一・共有を図った。また、領域の系統性を意識した指導を行った。</li> </ul>	<p>成果または課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教師モデルを示し、具体的な指導を行うことで、話し方、書き方を確実に身に付けることができるようになってきている。また、モデルを生かし、発展的な学習にも取り組むことができている。</li> <li>○系統性を明らかにし、発達段階に応じた指導を行うことにより、指導が明確となった。また、学び合う授業が定着しつつある。</li> </ul>
<p>個に応じた 指導の工夫</p>	<p>重点的に取り組んだ指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別指導を充実するため計画を見直し、更に個に応じた指導の充実を図った。</li> <li>・支援を要する児童については、校内委員会等で情報交換を行い、適切な指導を行った。</li> </ul>	<p>成果または課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の課題を明確にして、つまずきに丁寧に対応することにより、意欲的に学習に取り組む児童が増えている。</li> <li>●児童数の増加のため、少人数体制がとれないことが課題である。</li> <li>○特別支援教室の教員、SCと連携をとりながら、配慮を要する児童に対しての様々なアプローチができた。</li> </ul>
<p>授業改善の 検証方法</p>	<p>当てはまる項目に○を付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(○) 管理職による授業観察の検証</li> <li>(○) 教員相互での授業参観による検証</li> <li>(○) 校内研究での検証(研究授業等含む)</li> <li>(○) 定期テスト、小テスト(漢字・計算等)の結果による検証</li> <li>(○) 授業者による「個別の授業改善」シートを活用した検証</li> <li>(○) 作品や提出物の評価による検証</li> <li>(○) 学校評価における教員の自己評価の検証</li> <li>(○) 保護者及び児童・生徒アンケートによる検証</li> <li>(○) 学校関係者評価委員会における検証</li> <li>( ) その他&lt;</li> </ul> <p style="text-align: right;">&gt;</p>	
<p>授業改善の 主な結果</p>	<p>当てはまる項目に○を付けてください。</p> <p>&lt;児童・生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(○) 学習意欲がより高まった。</li> <li>(○) 基礎的・基本的な学習内容がより定着した。</li> <li>(○) 知識・技能の活用能力や問題解決能力が高まった。</li> <li>(○) 学力(学習の到達度)の向上が図られた。</li> </ul> <p>&lt;教員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(○) 指導の工夫や教材開発が図られるようになった。</li> <li>(○) 授業の指導技術が向上した。</li> <li>(○) 個に応じた指導がより一層図られるようになった。</li> <li>( ) その他&lt;</li> </ul> <p style="text-align: right;">&gt;</p>	